

5. サービス、社会資源について

(1) 不足しているサービス

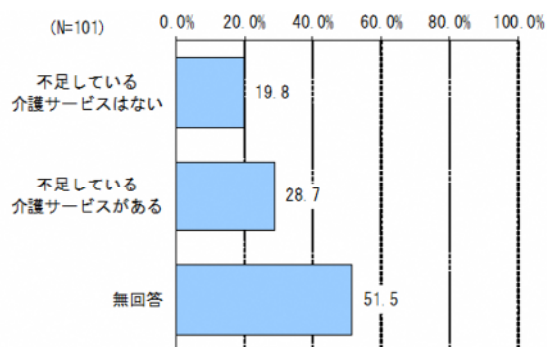
- 問 13 三田市に不足していると思われるサービスは何ですか。下記から選択し、それぞれ番号をご記入ください。(各圏域3つまで) ※わかる範囲でご記入ください。

<三田・三輪南圏域>

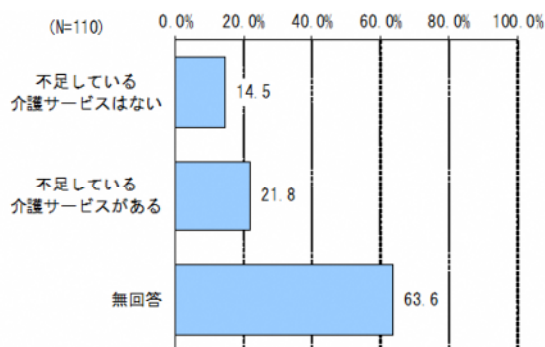
- 三田・三輪南圏域では「不足している介護サービスがある」が 28.7%となっており、前回調査と比べると 6.9 ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「夜間対応型訪問介護」(12.9%)「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(8.9%)が前回調査に引き続き多く、「訪問介護」(6.9%)は前回調査に比べて多くなっています。また、「看護小規模多機能型居宅介護」(2.0%)は前回調査と比べて少なくなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護サービス	件	3LA%
夜間対応型訪問介護	13	12.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	8.9
訪問介護	7	6.9
訪問入浴介護	7	6.9
訪問リハビリテーション	5	5.0
短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	5.0
訪問看護	4	4.0
認知症対応型通所介護	4	4.0
居宅介護支援	2	2.0
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.0
通所介護	1	1.0
通所リハビリテーション	1	1.0
小規模多機能型居宅介護	1	1.0
介護医療院	1	1.0

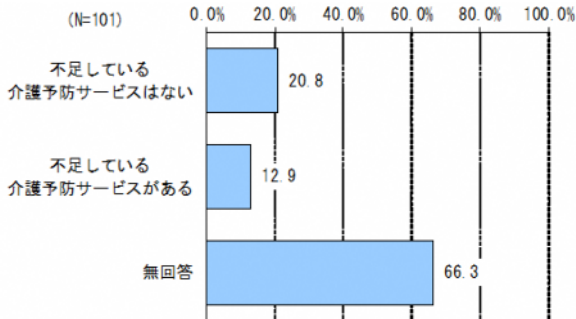
(N=110)

介護サービス	件	3LA%
夜間対応型訪問介護	14	12.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7	6.4
看護小規模多機能型居宅介護	7	6.4
訪問入浴介護	5	4.5
訪問リハビリテーション	4	3.6
通所リハビリテーション	4	3.6
短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	3.6
介護老人保健施設	4	3.6
介護老人福祉施設	3	2.7
認知症対応型共同生活介護	3	2.7
訪問介護	2	1.8
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	0.9
介護老人福祉施設	1	0.9
介護療養型医療施設・介護医療院	1	0.9

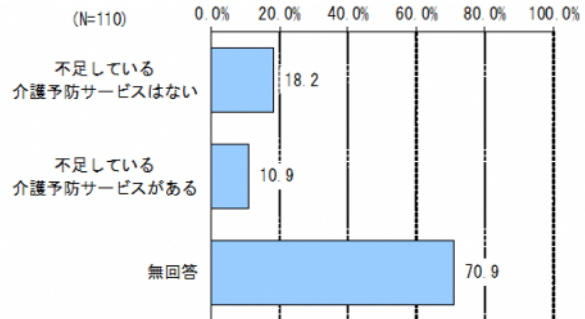
- 三田・三輪南圏域では「不足している介護予防サービスがある」が12.9%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問リハビリテーション」「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」(4.0%)が多く、前回調査に比べても多くなっています。また、「介護予防認知症対応型通所介護」(4.0%)は前回調査に引き続き多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防訪問リハビリテーション	4	4.0
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	4.0
介護予防認知症対応型通所介護	4	4.0
介護予防訪問看護	3	3.0
介護予防支援	3	3.0
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	3.0
介護予防通所リハビリテーション	2	2.0
介護予防訪問入浴介護	1	1.0
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	1.0

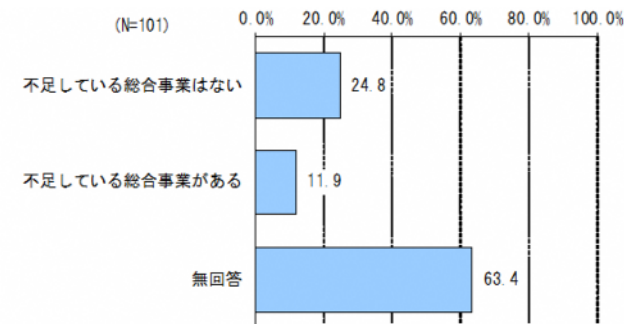
(N=110)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	6	5.5
介護予防支援	5	4.5
介護予防認知症対応型共同生活介護	4	3.6
介護予防訪問看護	3	2.7
介護予防通所リハビリテーション	3	2.7
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	2.7
介護予防訪問リハビリテーション	2	1.8
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	1	0.9
介護予防特定入居者生活介護	1	0.9

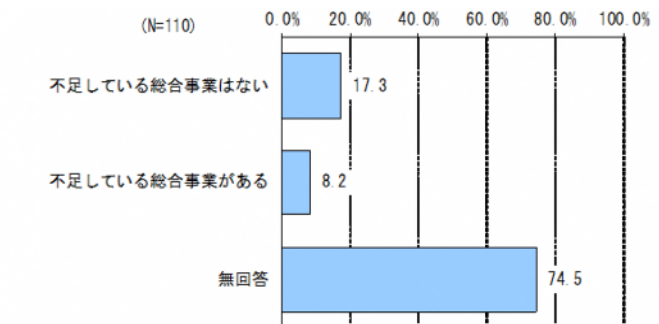
- 三田・三輪南圏域では「不足している総合事業がある」が11.9%となっています。
- 不足しているサービスで最も多い「訪問型サービスB(生活支援型)」(5.9%)が前回調査に引き続き多くなっています。「介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)」(5.0%)は前回調査と比べて多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

総合事業	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	6	5.9
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	5	5.0
訪問型サービスA(基準緩和型)	2	2.0
通所型サービスA(基準緩和型)	2	2.0
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.0
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	1	1.0

(N=110)

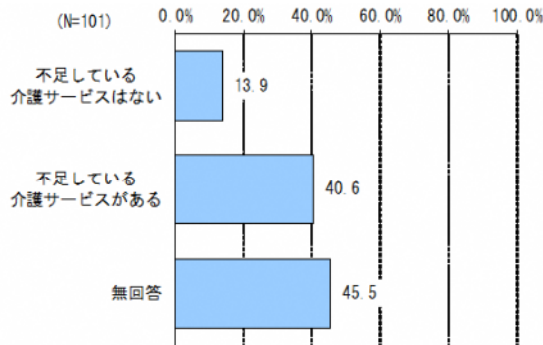
総合事業サービス	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	6	5.5
通所型サービスB(生活支援型)	5	4.5
訪問型サービスC(短期集中型)	2	1.8
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	1	0.9
訪問型サービスA(基準緩和型)	1	0.9
通所型サービスA(基準緩和型)	1	0.9
通所型サービスC(短期集中型)	1	0.9

<三輪北・小野・高平圏域>

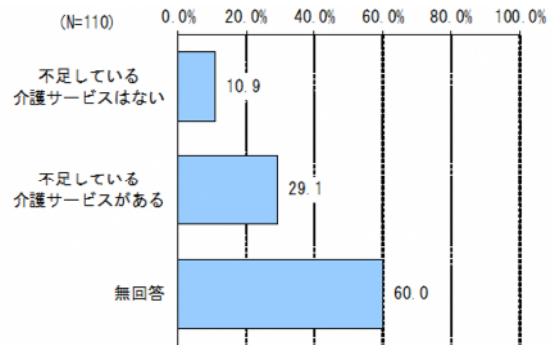
- 三輪北・小野・高平圏域では「不足している介護サービスがある」が40.6%となっており、前回調査と比べると11.5ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「訪問介護」(15.8%)が最も多く、前回調査と比べて多くなっています。「通所介護」(13.9%)は前回調査と比べてやや多く、「夜間対応型訪問介護」(10.9%)「通所リハビリテーション」(8.9%)は前回調査に引き続き多くなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	16	15.8
通所介護	14	13.9
夜間対応型訪問介護	11	10.9
通所リハビリテーション	9	8.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7	6.9
訪問リハビリテーション	6	5.9
訪問入浴介護	5	5.0
訪問看護	5	5.0
短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	5.0
小規模多機能型居宅介護	3	3.0
地域密着型通所介護	3	3.0
居宅介護支援	2	2.0
認知症対応型通所介護	2	2.0
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.0
介護老人福祉施設	1	1.0
介護医療院	1	1.0

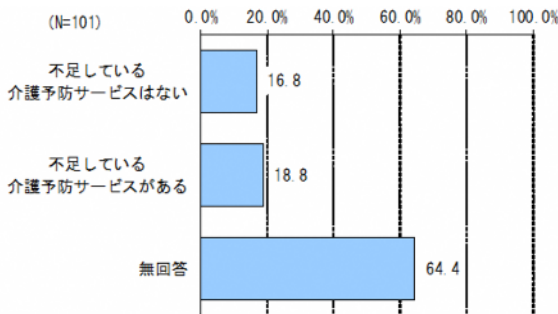
(N=110)

介護サービス	件	3LA%
通所介護	10	9.1
通所リハビリテーション	10	9.1
夜間対応型訪問介護	10	9.1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8	7.3
訪問介護	7	6.4
訪問入浴介護	6	5.5
認知症対応型通所介護	6	5.5
訪問リハビリテーション	5	4.5
短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	4.5
看護小規模多機能型居宅介護	4	3.6
認知症対応型共同生活介護	3	2.7
小規模多機能型居宅介護	2	1.8
住宅改修	1	0.9
介護療養型医療施設・介護医療院	1	0.9

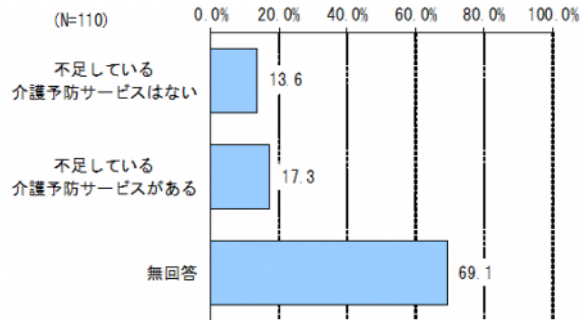
- 三輪北・小野・高平圏域では「不足している介護予防サービスがある」が18.8%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防通所リハビリテーション」(9.9%)が前回調査に引き続き最も多くなっています。次いで、「介護予防訪問看護」(5.0%)は前回調査と比べて多く、「介護予防訪問リハビリテーション」(5.0%)は前回調査に引き続き多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防通所リハビリテーション	10	9.9
介護予防訪問看護	5	5.0
介護予防訪問リハビリテーション	5	5.0
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	4.0
介護予防支援	4	4.0
介護予防認知症対応型通所介護	3	3.0
介護予防訪問入浴介護	1	1.0
介護予防小規模多機能型居宅介護	1	1.0

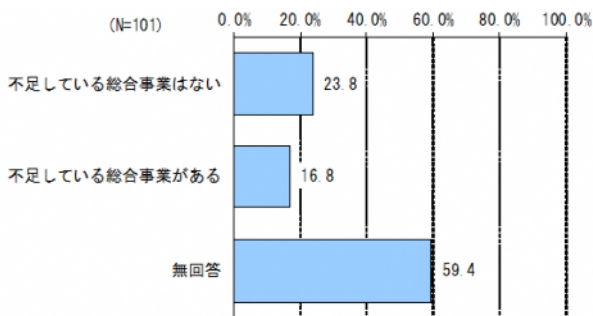
(N=110)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防通所リハビリテーション	10	9.1
介護予防認知症対応型通所介護	7	6.4
介護予防訪問リハビリテーション	4	3.6
介護予防支援	4	3.6
介護予防認知症対応型共同生活介護	3	2.7
介護予防訪問看護	2	1.8
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	2	1.8
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	1.8
介護予防訪問入浴介護	1	0.9
介護予防特定入居者生活介護	1	0.9

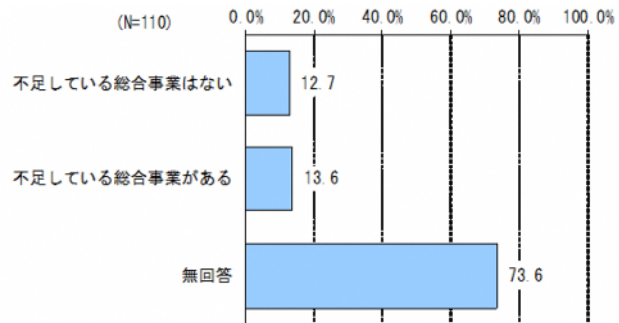
- 三輪北・小野・高平圏域では「不足している総合事業がある」が16.8%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)」(8.9%)が最も多く、前回調査と比べて多くなっています。次いで「訪問型サービスB(生活支援型)」(6.9%)は前回調査に引き続き多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	9	8.9
訪問型サービスB(生活支援型)	7	6.9
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	4	4.0
訪問型サービスA(基準緩和型)	2	2.0
通所型サービスA(基準緩和型)	2	2.0
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.0

(N=110)

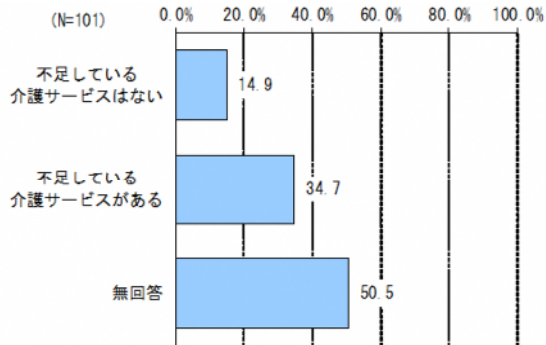
総合事業サービス	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	8	7.3
通所型サービスB(生活支援型)	6	5.5
通所型サービスA(基準緩和型)	4	3.6
訪問型サービスA(基準緩和型)	3	2.7
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	3	2.7
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	2	1.8
訪問型サービスC(短期集中型)	2	1.8
通所型サービスC(短期集中型)	1	0.9

< 広野・本庄圏域 >

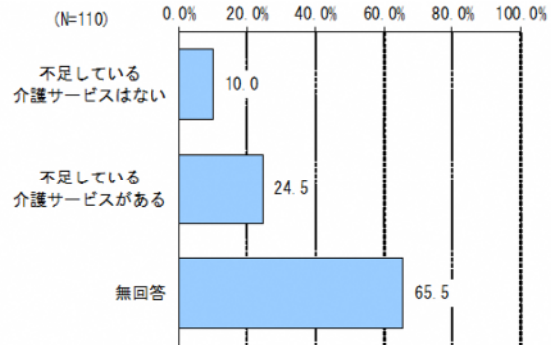
- 広野・本庄圏域では「不足している介護サービスがある」が 34.7%となっており、前回調査と比べると 10.2 ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「訪問介護」(11.9%) が最も多く、前回調査と比べて多くなっています。次いで「夜間対応型訪問介護」(10.9%) 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(7.9%) は前回調査に引き続き多く、「通所介護」(7.9%) は前回調査と比べて多くなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	12	11.9
夜間対応型訪問介護	11	10.9
通所介護	8	7.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8	7.9
通所リハビリテーション	6	5.9
訪問入浴介護	5	5.0
訪問リハビリテーション	5	5.0
短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	5.0
訪問看護	4	4.0
居宅介護支援	2	2.0
小規模多機能型居宅介護	2	2.0
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.0
地域密着型通所介護	2	2.0
認知症対応型通所介護	1	1.0

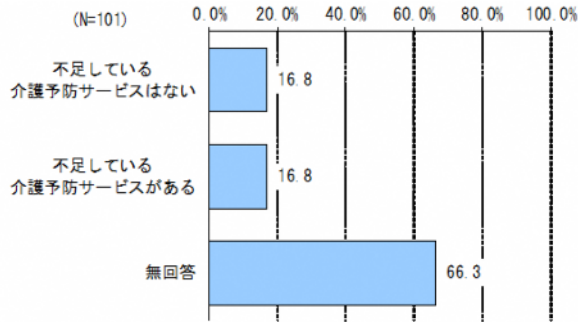
(N=110)

介護サービス	件	3LA%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	11	10.0
夜間対応型訪問介護	10	9.1
訪問リハビリテーション	6	5.5
看護小規模多機能型居宅介護	6	5.5
訪問介護	5	4.5
訪問入浴介護	5	4.5
認知症対応型通所介護	5	4.5
通所介護	4	3.6
短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	3.6
小規模多機能型居宅介護	4	3.6
通所リハビリテーション	2	1.8
認知症対応型共同生活介護	2	1.8
介護療養型医療施設・介護医療院	1	0.9

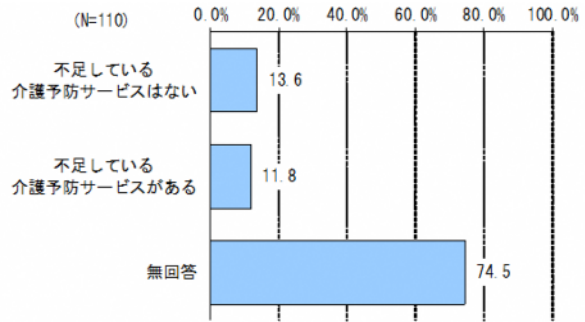
- 広野・本庄圏域では「不足している介護予防サービスがある」が16.8%となっており、前回調査と比べると5.0ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問リハビリテーション」(5.0%)「介護予防通所リハビリテーション」「介護予防支援」(4.0%)が前回調査に引き続き多く、「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」(4.0%)は前回調査と比べて多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防訪問リハビリテーション	5	5.0
介護予防通所リハビリテーション	4	4.0
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	4.0
介護予防支援	4	4.0
介護予防認知症対応型通所介護	4	4.0
介護予防訪問看護	3	3.0
介護予防訪問入浴介護	1	1.0
介護予防小規模多機能型居宅介護	1	1.0

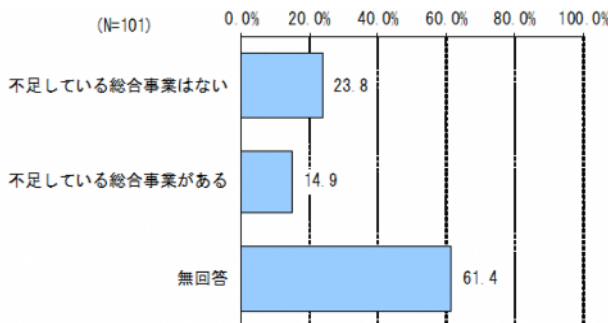
(N=110)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防訪問リハビリテーション	5	4.5
介護予防認知症対応型通所介護	5	4.5
介護予防通所リハビリテーション	4	3.6
介護予防支援	4	3.6
介護予防小規模多機能型居宅介護	4	3.6
介護予防訪問看護	2	1.8
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	1.8
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	1	0.9
介護予防特定入居者生活介護	1	0.9

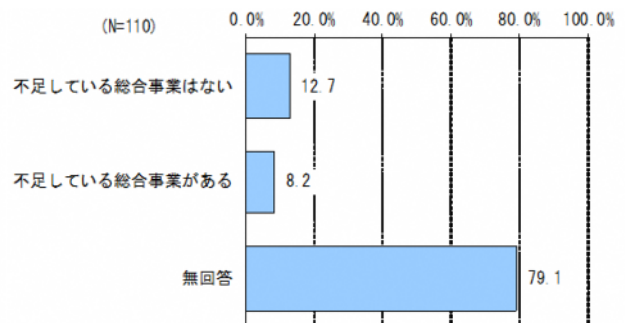
- 広野・本庄圏域では「不足している総合事業がある」が14.9%となっており、前回調査と比べると6.7ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）」(5.9%)が前回調査と比べて多く、「訪問型サービスB（生活支援型）」(5.9%)は前回調査に引き続き多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

総合事業	件	3LA%
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	6	5.9
訪問型サービスB(生活支援型)	6	5.9
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	3	3.0
通所型サービスB(生活支援型)	3	3.0
訪問型サービスA(基準緩和型)	2	2.0
通所型サービスA(基準緩和型)	2	2.0

(N=110)

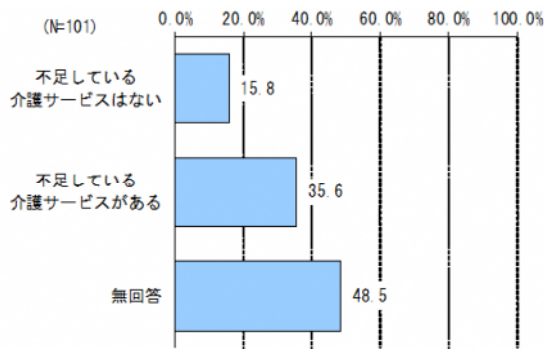
総合事業サービス	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	6	5.5
通所型サービスB(生活支援型)	4	3.6
訪問型サービスA(基準緩和型)	2	1.8
訪問型サービスC(短期集中型)	2	1.8
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	1	0.9
通所型サービスA(基準緩和型)	1	0.9

<藍圏域>

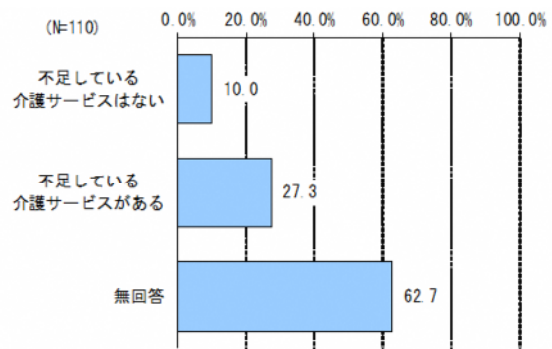
- 藍圏域では「不足している介護サービスがある」が 35.6%となっており、前回調査と比べると 8.3 ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「訪問介護」(11.9%) が最も多く、前回調査と比べて多くなっています。次いで「夜間対応型訪問介護」(10.9%) 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(6.9%) は前回調査に引き続き多くなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護サービス	件	3LA%
訪問介護	12	11.9
夜間対応型訪問介護	11	10.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7	6.9
通所介護	6	5.9
訪問入浴介護	5	5.0
訪問リハビリテーション	5	5.0
短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	5.0
訪問看護	4	4.0
小規模多機能型居宅介護	4	4.0
通所リハビリテーション	3	3.0
居宅介護支援	3	3.0
認知症対応型通所介護	3	3.0
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.0
地域密着型通所介護	2	2.0
認知症対応型共同生活介護	1	1.0
介護老人福祉施設	1	1.0

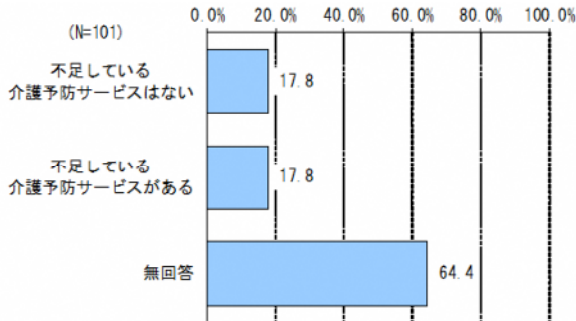
(N=110)

介護サービス	件	3LA%
夜間対応型訪問介護	9	8.2
訪問入浴介護	8	7.3
訪問介護	7	6.4
訪問リハビリテーション	7	6.4
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7	6.4
認知症対応型通所介護	7	6.4
通所介護	5	4.5
看護小規模多機能型居宅介護	5	4.5
短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	3.6
認知症対応型共同生活介護	4	3.6
小規模多機能型居宅介護	2	1.8
居宅療養管理指導	1	0.9
通所リハビリテーション	1	0.9
福祉用具貸与・購入	1	0.9
介護療養型医療施設・介護医療院	1	0.9

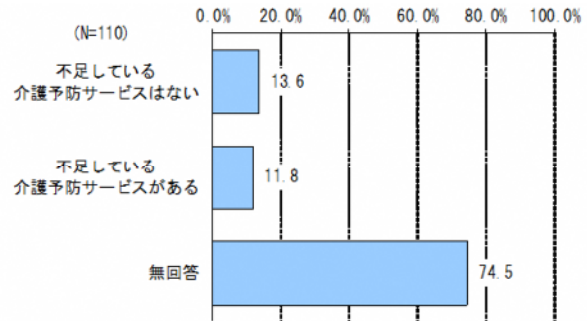
- 藍圏域では「不足している介護予防サービスがある」が 17.8%となっており、前回調査と比べると 6.0 ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防通所リハビリテーション」(6.9%)「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」(4.0%) が前回調査と比べて多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防通所リハビリテーション	7	6.9
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	4.0
介護予防支援	4	4.0
介護予防認知症対応型通所介護	4	4.0
介護予防訪問看護	3	3.0
介護予防訪問リハビリテーション	3	3.0
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	2.0
介護予防訪問入浴介護	1	1.0
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	1.0

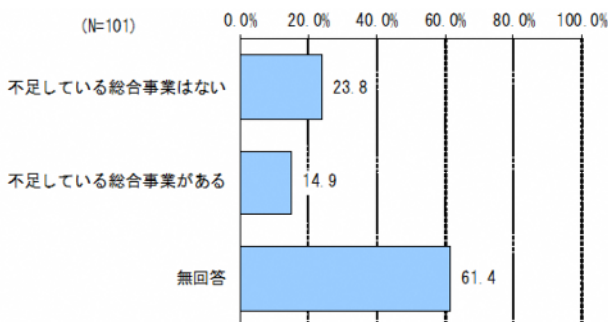
(N=110)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	7	6.4
介護予防支援	5	4.5
介護予防通所リハビリテーション	4	3.6
介護予防訪問リハビリテーション	3	2.7
介護予防訪問看護	2	1.8
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	1.8
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	1.8
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	1	0.9
介護予防福祉用具貸与・購入	1	0.9
介護予防特定入居者生活介護	1	0.9

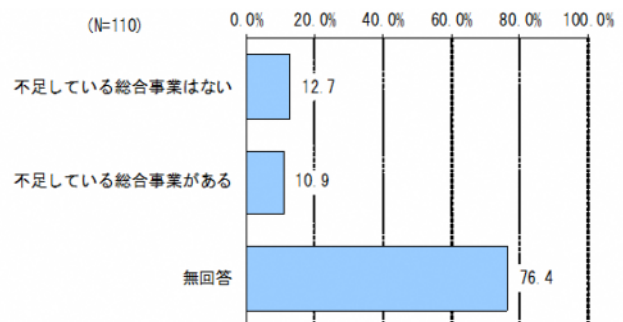
- 藍圏域では「不足している総合事業がある」が 14.9%となっています。
- 不足しているサービスは、「訪問型サービス B (生活支援型)」(6.9%) が前回調査に引き続き最も多くなっています。次いで「介護予防訪問介護相当サービス (現行相当)」(5.9%) が前回調査と比べて多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

総合事業	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	7	6.9
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	6	5.9
通所型サービスA(基準緩和型)	3	3.0
訪問型サービスA(基準緩和型)	2	2.0
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	2	2.0
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.0

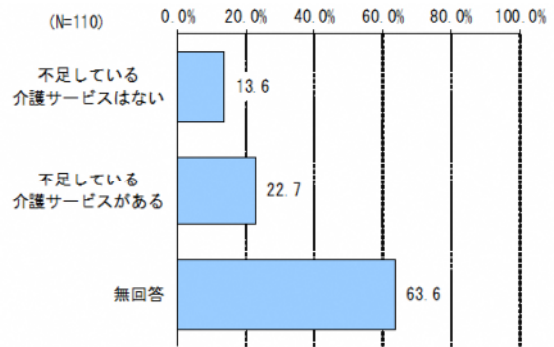
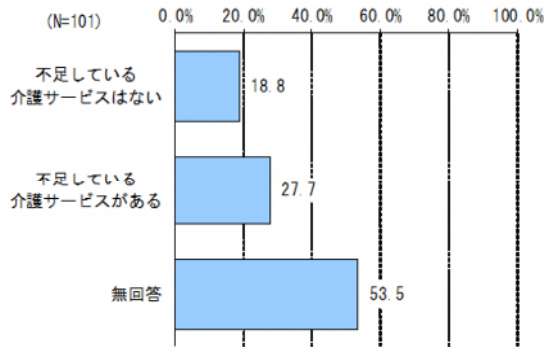
(N=110)

総合事業サービス	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	7	6.4
通所型サービスB(生活支援型)	4	3.6
訪問型サービスC(短期集中型)	2	1.8
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	1	0.9
訪問型サービスA(基準緩和型)	1	0.9
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	1	0.9
通所型サービスA(基準緩和型)	1	0.9
通所型サービスC(短期集中型)	1	0.9

<フラワー圏域>

- フラワー圏域では「不足している介護サービスがある」が 27.7%となっており、前回調査と比べると 5.0 ポイント多くなっています。
- 不足しているサービスは、「夜間対応型訪問介護」(10.9%) が前回調査に引き続き最も多くなっています。次いで「訪問介護」(6.9%) は前回調査と比べて多くなっています。

【介護サービス】



(N=101)

介護サービス	件	3LA%
夜間対応型訪問介護	11	10.9
訪問介護	7	6.9
訪問入浴介護	6	5.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6	5.9
訪問リハビリテーション	5	5.0
短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	5.0
訪問看護	4	4.0
通所リハビリテーション	3	3.0
看護小規模多機能型居宅介護	3	3.0
居宅介護支援	2	2.0
認知症対応型通所介護	2	2.0
通所介護	1	1.0
小規模多機能型居宅介護	1	1.0
地域密着型通所介護	1	1.0

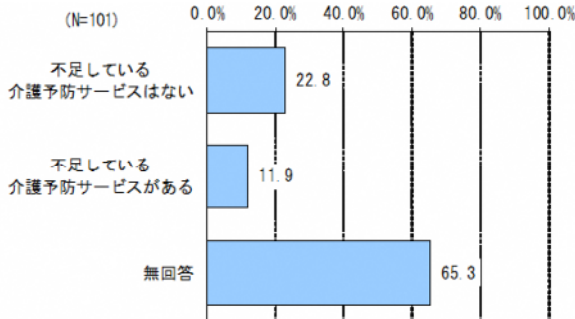
(N=110)

介護サービス	件	3LA%
夜間対応型訪問介護	15	13.6
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	8.2
訪問入浴介護	6	5.5
看護小規模多機能型居宅介護	6	5.5
短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	4.5
認知症対応型通所介護	5	4.5
訪問リハビリテーション	3	2.7
通所リハビリテーション	3	2.7
認知症対応型共同生活介護	3	2.7
小規模多機能型居宅介護	2	1.8
介護療養型医療施設・介護医療院	2	1.8
居宅介護支援	1	0.9
介護老人保健施設	1	0.9

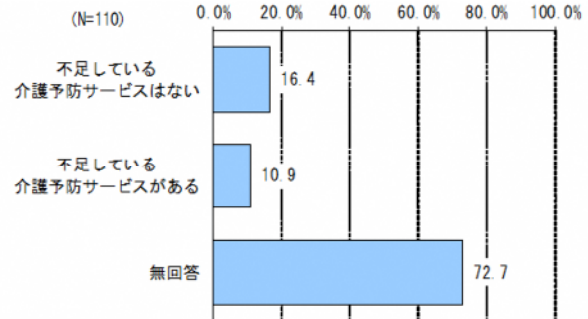
- フラワー圏域では「不足している介護予防サービスがある」が11.9%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」(4.0%)が前回調査と比べて多く、「介護予防認知症対応型通所介護」(4.0%)が前回調査に引き続き多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	4.0
介護予防認知症対応型通所介護	4	4.0
介護予防訪問看護	3	3.0
介護予防訪問リハビリテーション	3	3.0
介護予防支援	3	3.0
介護予防通所リハビリテーション	2	2.0
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	2.0
介護予防訪問入浴介護	1	1.0

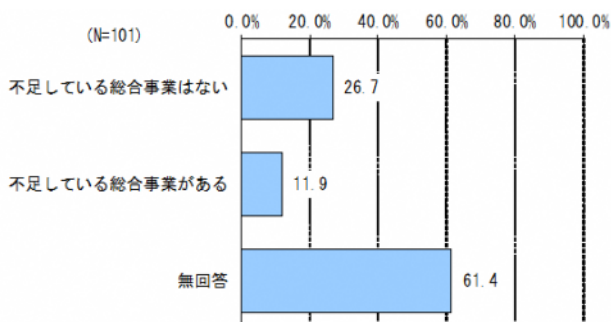
(N=110)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	6	5.5
介護予防支援	5	4.5
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	2.7
介護予防認知症対応型共同生活介護	3	2.7
介護予防訪問看護	2	1.8
介護予防訪問リハビリテーション	2	1.8
介護予防通所リハビリテーション	2	1.8
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	2	1.8
介護予防特定入居者生活介護	1	0.9

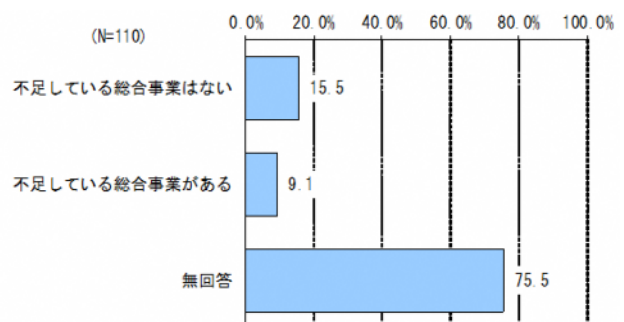
- フラワー圏域では「不足している総合事業がある」が11.9%となっています。
- 不足しているサービスは、「訪問型サービスB(生活支援型)」(5.9%)が前回調査に引き続き最も多くなっています。次いで「介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)」(5.0%)が前回調査と比べて多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

総合事業	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	6	5.9
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	5	5.0
訪問型サービスA(基準緩和型)	2	2.0
通所型サービスA(基準緩和型)	2	2.0
通所型サービスB(生活支援型)	2	2.0
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	1	1.0

(N=110)

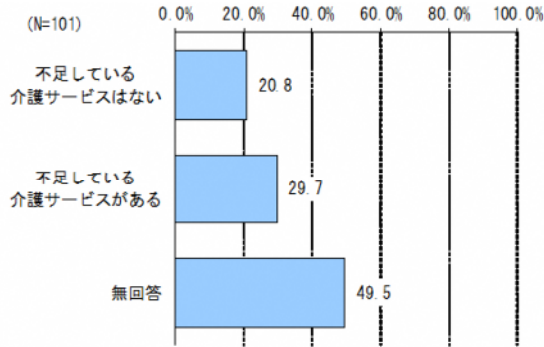
総合事業サービス	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	7	6.4
通所型サービスB(生活支援型)	6	5.5
訪問型サービスC(短期集中型)	3	2.7
通所型サービスC(短期集中型)	2	1.8
訪問型サービスA(基準緩和型)	1	0.9
通所型サービスA(基準緩和型)	1	0.9

<ウッディ・カルチャー圏域>

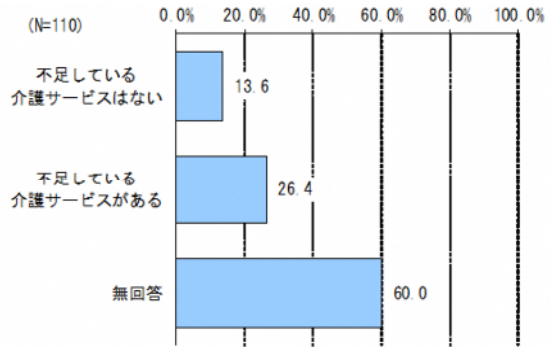
- ウッディ・カルチャー圏域では「不足している介護サービスがある」が 29.7%となっています。
- 不足しているサービスは、「夜間対応型訪問介護」(12.9%)「訪問入浴介護」(8.9%)「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(7.9%)が前回調査に引き続き多くなっています。

【介護サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護サービス	件	3LA%
夜間対応型訪問介護	13	12.9
訪問入浴介護	9	8.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8	7.9
訪問介護	6	5.9
訪問リハビリテーション	5	5.0
短期入所生活介護・短期入所療養介護	5	5.0
訪問看護	4	4.0
認知症対応型通所介護	3	3.0
通所介護	2	2.0
居宅介護支援	2	2.0
看護小規模多機能型居宅介護	2	2.0
通所リハビリテーション	1	1.0
小規模多機能型居宅介護	1	1.0
認知症対応型共同生活介護	1	1.0
介護老人保健施設	1	1.0

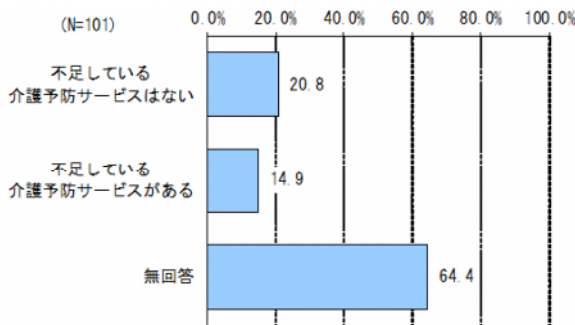
(N=110)

介護サービス	件	3LA%
夜間対応型訪問介護	14	12.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10	9.1
訪問入浴介護	6	5.5
看護小規模多機能型居宅介護	6	5.5
認知症対応型共同生活介護	5	4.5
訪問介護	4	3.6
訪問リハビリテーション	4	3.6
短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	3.6
認知症対応型通所介護	4	3.6
通所介護	3	2.7
通所リハビリテーション	2	1.8
介護老人福祉施設	2	1.8
訪問看護	1	0.9
福祉用具貸与・購入	1	0.9
介護老人保健施設	1	0.9
介護療養型医療施設・介護医療院	1	0.9

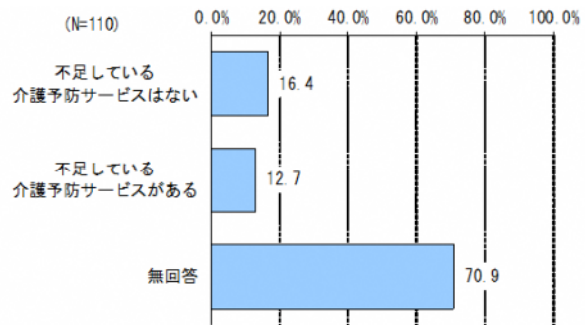
- ウッディ・カルチャー圏域では「不足している介護予防サービスがある」が 14.9%となっています。
- 不足しているサービスは、「介護予防訪問リハビリテーション」「介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護」「介護予防支援」「介護予防認知症対応型通所介護」(4.0%)が最も多くなっています。

【介護予防サービス】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防訪問リハビリテーション	4	4.0
介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	4	4.0
介護予防支援	4	4.0
介護予防認知症対応型通所介護	4	4.0
介護予防訪問看護	3	3.0
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	3.0
介護予防通所リハビリテーション	2	2.0
介護予防訪問入浴介護	1	1.0

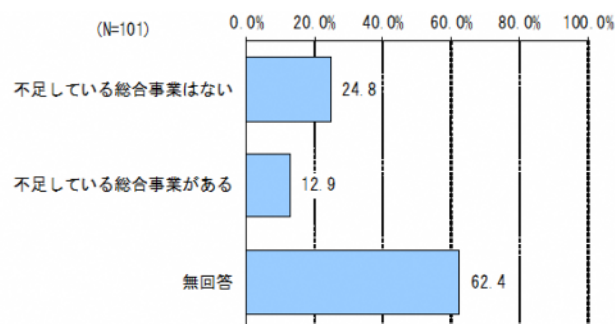
(N=110)

介護予防サービス	件	3LA%
介護予防認知症対応型通所介護	6	5.5
介護予防支援	4	3.6
介護予防認知症対応型共同生活介護	4	3.6
介護予防訪問リハビリテーション	3	2.7
介護予防通所リハビリテーション	3	2.7
介護予防短期生活介護・短期入所療養介護	3	2.7
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	2.7
介護予防訪問入浴介護	2	1.8
介護予防訪問看護	2	1.8
介護予防住宅改修	1	0.9
介護予防特定入居者生活介護	1	0.9

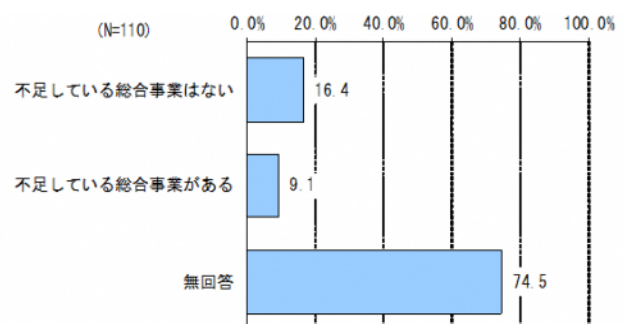
- ウッディ・カルチャー圏域では「不足している総合事業がある」が 12.9%となっています。
- 不足しているサービスは、「訪問型サービス B (生活支援型)」(6.9%)が前回調査に引き続き最も多くなっています。次いで「介護予防訪問介護相当サービス (現行相当)」(5.0%)が前回調査と比べて多くなっています。

【総合事業】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(N=101)

総合事業	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	7	6.9
介護予防訪問介護相当サービス(現行相当)	5	5.0
通所型サービスB(生活支援型)	4	4.0
訪問型サービスA(基準緩和型)	3	3.0
通所型サービスA(基準緩和型)	2	2.0
介護予防通所介護相当サービス(現行相当)	1	1.0

(N=110)

総合事業サービス	件	3LA%
訪問型サービスB(生活支援型)	8	7.3
訪問型サービスC(短期集中型)	4	3.6
通所型サービスB(生活支援型)	4	3.6
訪問型サービスA(基準緩和型)	1	0.9
通所型サービスA(基準緩和型)	1	0.9
通所型サービスC(短期集中型)	1	0.9

<まとめ>

【圏域別 最も不足しているサービス】

圏域	介護サービス	介護予防サービス	総合事業
三田・三輪南	夜間対応型訪問介護	介護予防訪問リハビリテーション	訪問型サービスB（生活支援型）
三輪北・小野・高平	訪問介護	介護予防通所リハビリテーション	介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）
広野・本庄	訪問介護	介護予防訪問リハビリテーション	訪問型サービスB（生活支援型）
藍	訪問介護	介護予防通所リハビリテーション	訪問型サービスB（生活支援型）
フラワー	夜間対応型訪問	介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	訪問型サービスB（生活支援型）
ウッディ・カルチャー	夜間対応型訪問介護	介護予防訪問リハビリテーション 介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護 介護予防認知症対応型通所介護	訪問型サービスB（生活支援型）

【不足している上位3サービスと特に不足している圏域】

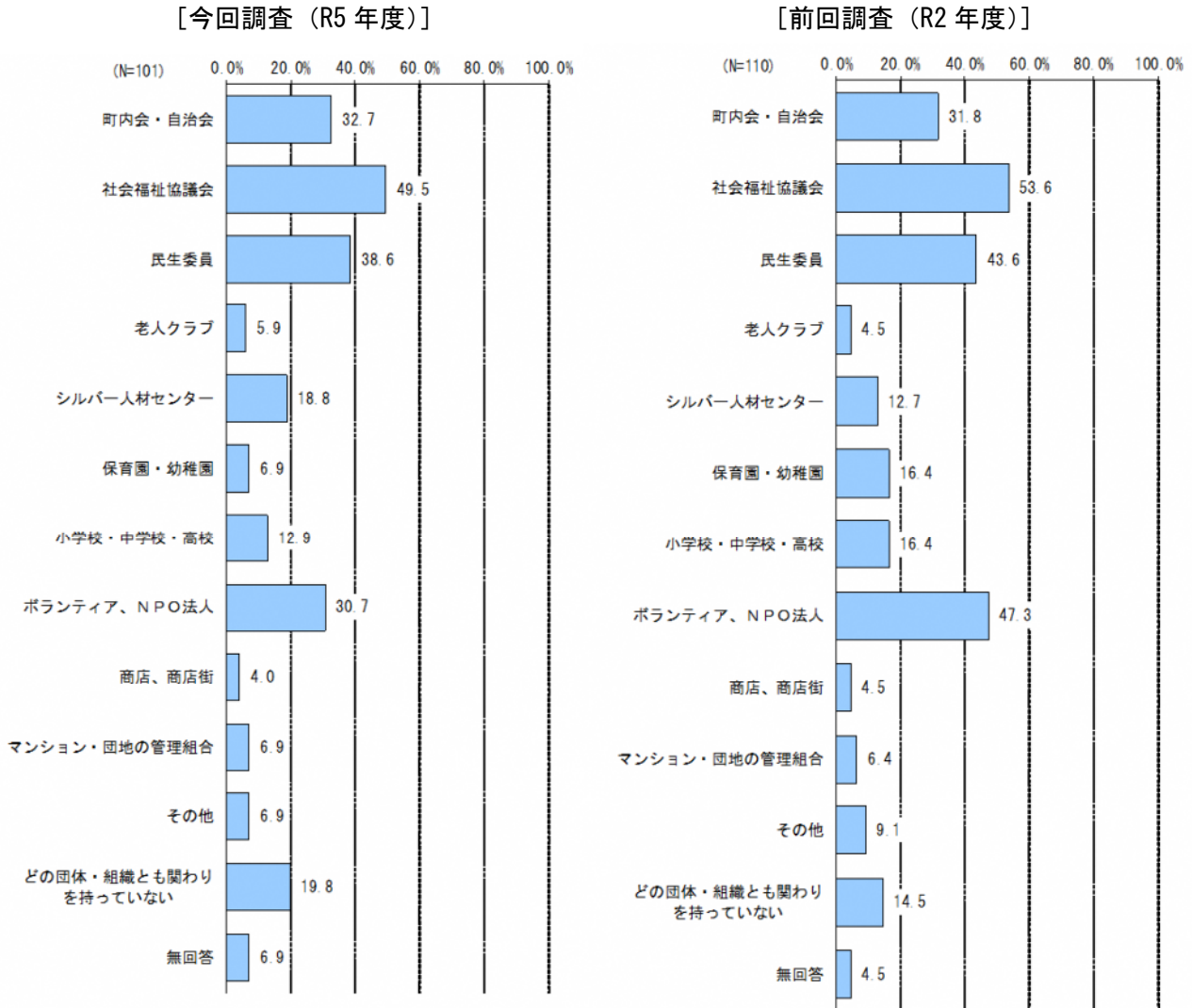
不足しているサービス		特に不足している圏域
介護サービス	1 夜間対応型訪問介護	三田・三輪南、ウッディ・カルチャー
	2 訪問介護	三輪北・小野・高平、広野・本庄、藍
	3 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	三田・三輪南、広野・本庄、ウッディ・カルチャー
介護予防サービス	1 介護予防通所リハビリテーション	三輪北・小野・高平、広野・本庄、藍
	2 介護予防訪問リハビリテーション	三輪北・小野・高平、広野・本庄
	3 介護予防短期入所生活介護・短期入所療養介護	すべての圏域
総合事業	1 訪問型サービスB（生活支援型）	三輪北・小野・高平、藍、ウッディ・カルチャー
	2 介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）	三輪北・小野・高平、広野・本庄、藍
	3 通所型サービスB（生活支援型）	広野・本庄、ウッディ・カルチャー

(2) 団体や組織との関わり

●問 14 どのような団体や組織と関わりを持ちながら運営していますか。(○はいくつでも)

- 団体や組織との関わりについて、「社会福祉協議会」が49.5%で最も多く、次いで「民生委員」が38.6%、「町内会・自治会」が32.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「ボランティア、NPO法人」が16.6ポイント、「民生委員」が5.0ポイント少なくなっています。また、「シルバー人材センター」で6.1ポイント、「どの団体・組織とも関わりを持っていない」が5.3ポイント多くなっています。

【団体や組織との関わり (MA)】

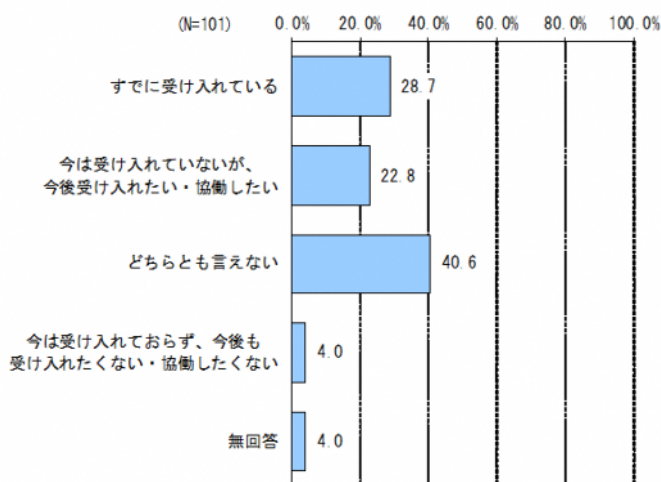


- 問 15 今後、ボランティアやNPO法人等との協働についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

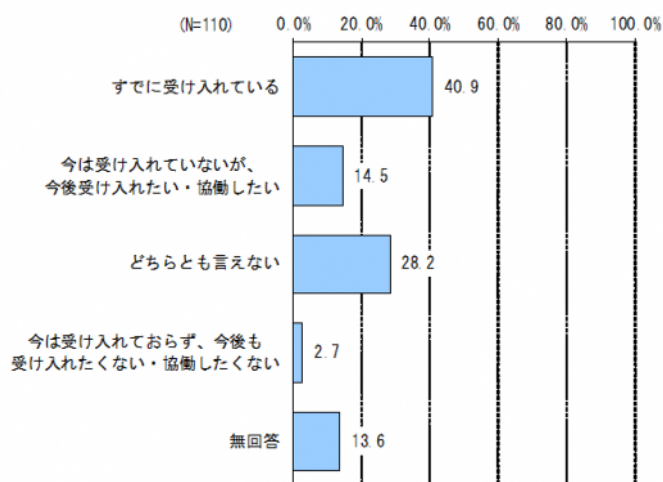
- ボランティアやNPO法人等との協働について、「どちらとも言えない」が40.6%で最も多く、次いで「すでに受け入れている」が28.7%、「今は受け入れているが、今後受け入れたい・協働したい」が22.8%となっています。
- 前回調査と比べると、「すでに受け入れている」が12.2ポイント少なく、「今は受け入れているが、今後受け入れたい・協働したい」が8.3ポイント多くなっています。また、「どちらとも言えない」が12.4ポイント多くなっています。

【ボランティアやNPO法人等との協働】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

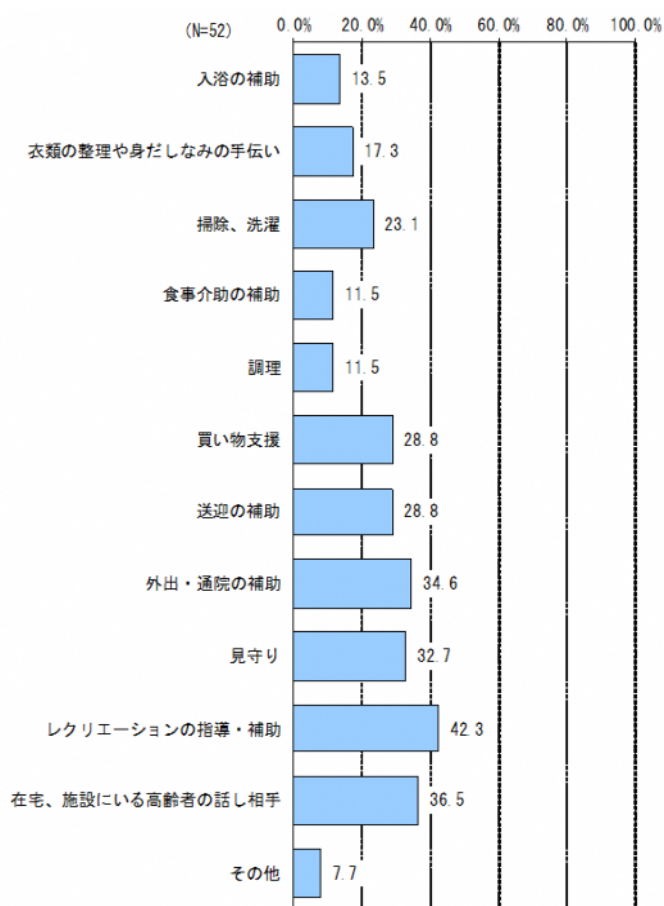


- 問 15-1 [受け入れている・受け入れ意向がある方のみ] 今後、どのような活動について、受け入れたい・協働したいと思いますか。(〇はいくつでも)

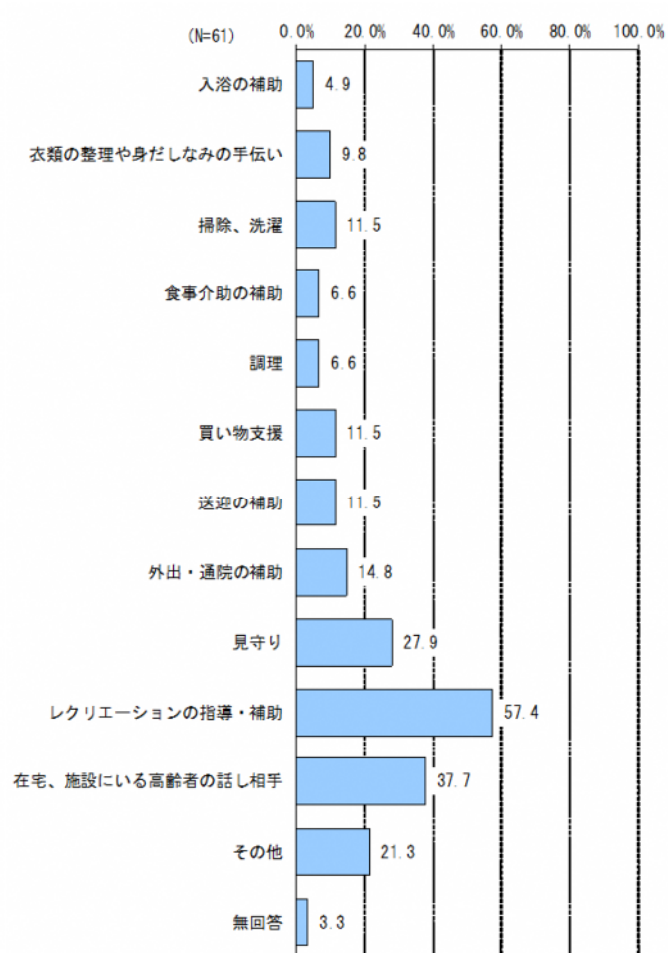
- 今後受け入れ・協働したい活動について、「レクリエーションの指導・補助」が42.3%で最も多く、次いで「在宅、施設にいる高齢者の話し相手」が36.5%、「外出・通院の補助」が34.6%となっています。
- 前回調査と比べると、ほとんどの項目で多くなっています。特に「買い物支援」「送迎の補助」「外出・通院の補助」で約20ポイント多くなっています。

【今後受け入れ・協働したい活動 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



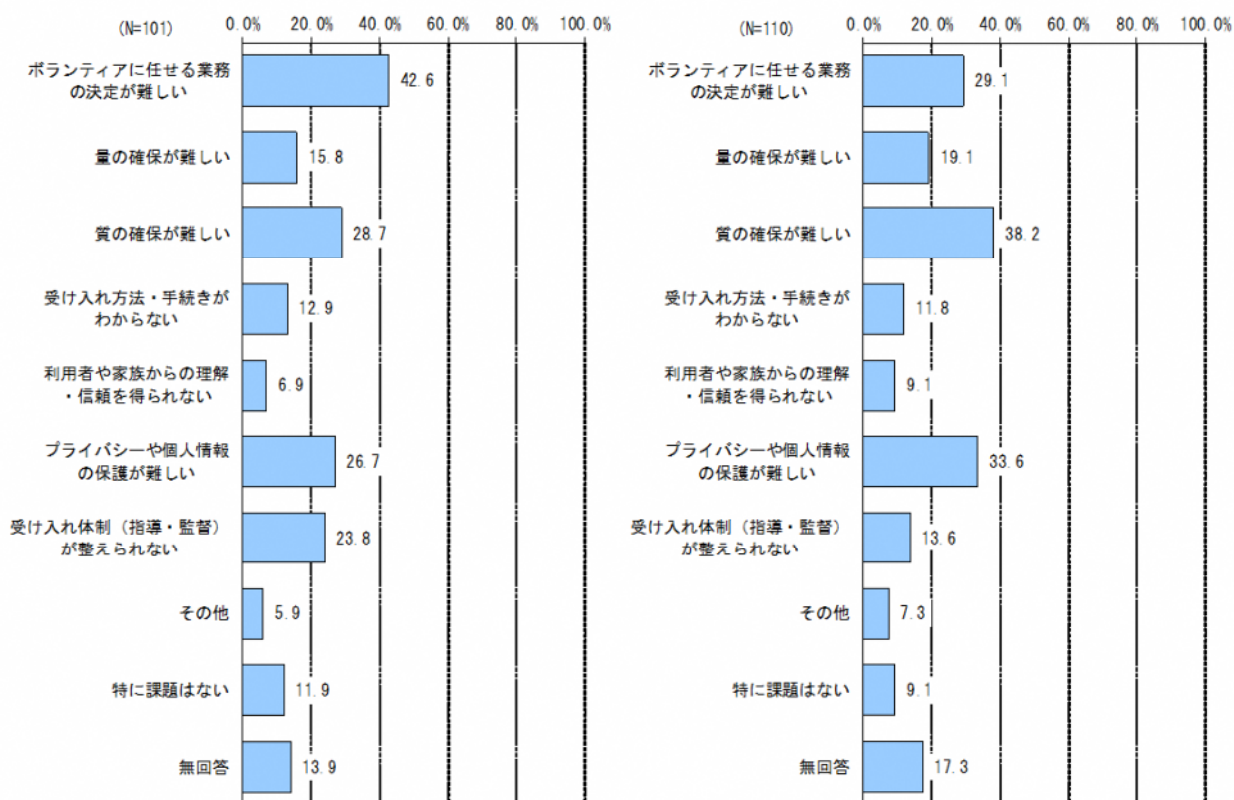
●問 16 ボランティアを受け入れる際の課題を教えてください。(〇はいくつでも)

- ボランティアを受け入れる際の課題について、「ボランティアに任せる業務の決定が難しい」が42.6%で最も多く、次いで「質の確保が難しい」が28.7%、「プライバシーや個人情報の保護が難しい」が26.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「ボランティアに任せる業務の決定が難しい」で13.5ポイント多くなっています。

【ボランティアを受け入れる際の課題 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



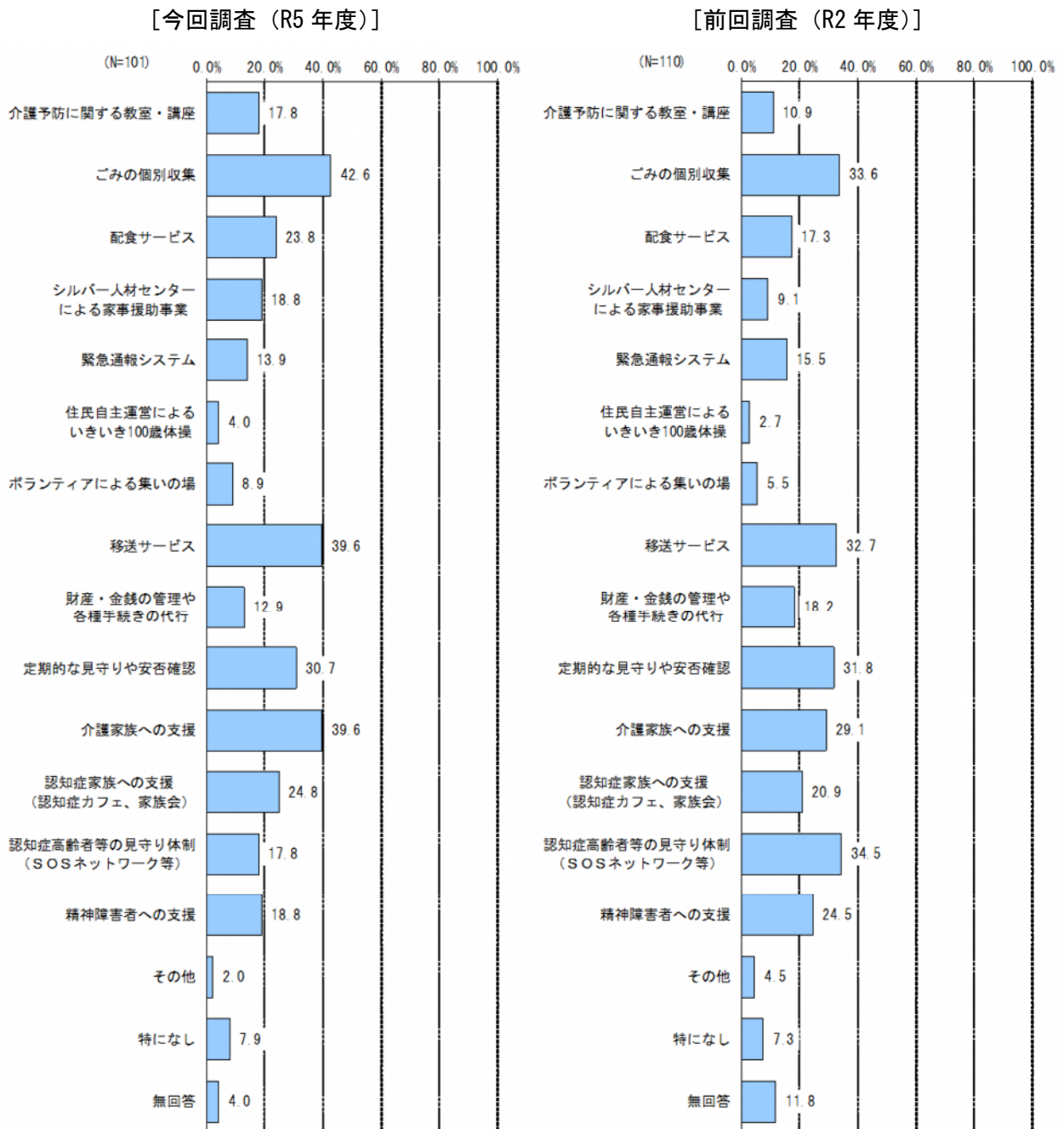
(3) 充実すべき取り組み

- 問 17 介護保険サービス以外の三田市の高齢者保健福祉サービスや活動について、もっと充実すべき、あるいは新たに行うべきだと感じられるサービスはありますか。(〇はいくつでも)

○ 充実すべき高齢者保健福祉サービス・活動について、「ごみの個別収集」が42.6%で最も多く、次いで「移送サービス」「介護家族への支援」が39.6%となっています。

○ 前回調査と比べると、「ごみの個別収集」「シルバー人材センターによる家事援助事業」「介護家族への支援」で約10ポイント多くなっています。

【充実すべき高齢者保健福祉サービス・活動 (MA)】

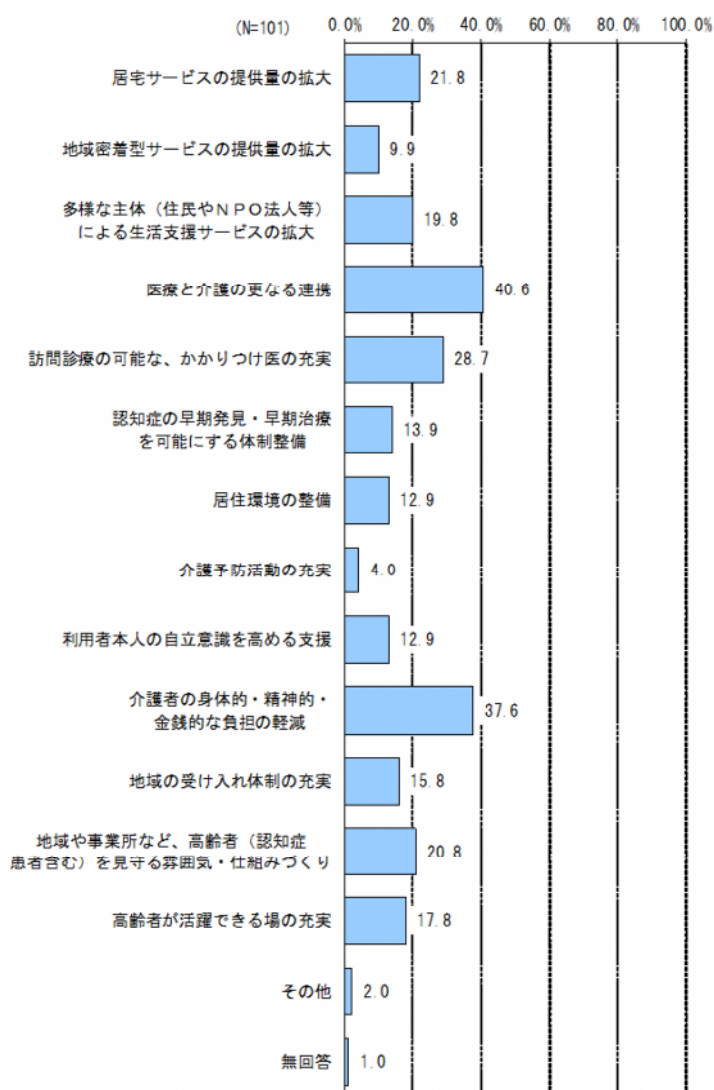


●問 18 要介護状態になっても住み慣れた地域で最後まで自分らしく生活するためには、今後、どのような取り組みが必要だと考えますか。(〇は3つまで)

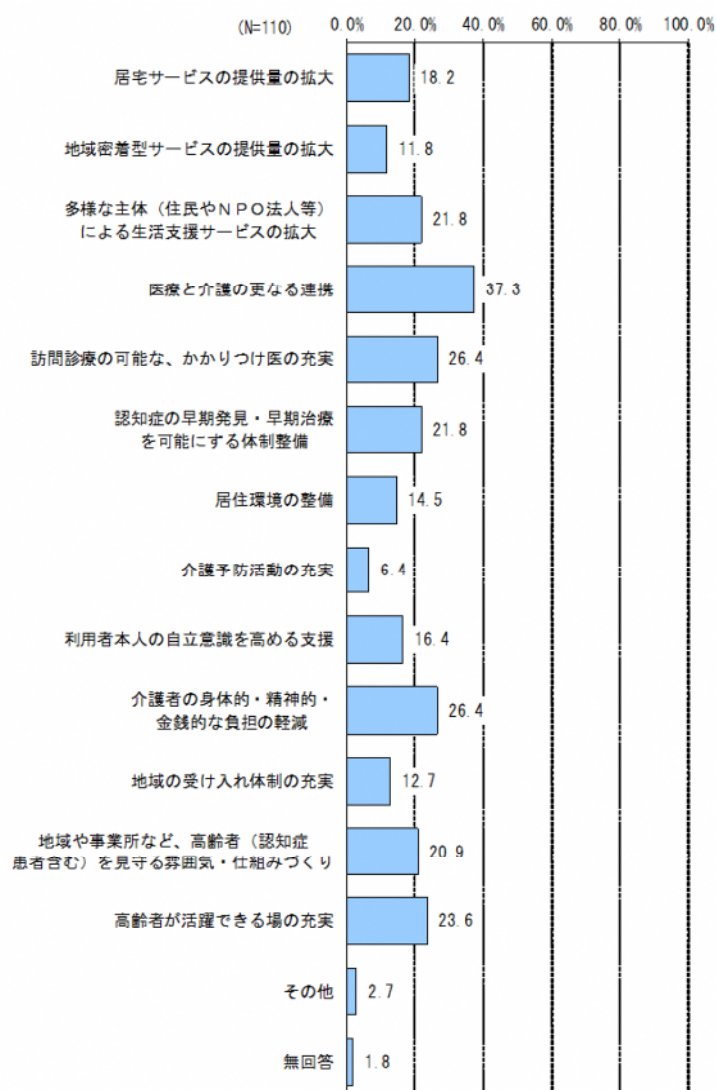
- 最後まで自分らしく生活するために必要な取り組みについて、「医療と介護の更なる連携」が40.6%で最も多く、次いで「介護者の身体的・精神的・金銭的な負担の軽減」が37.6%、「訪問診療の可能な、かかりつけ医の充実」が28.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「介護者の身体的・精神的・金銭的な負担の軽減」で11.2ポイント多くなっています。

【最後まで自分らしく生活するために必要な取り組み (3LA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



6. 認知症、医療・介護連携について

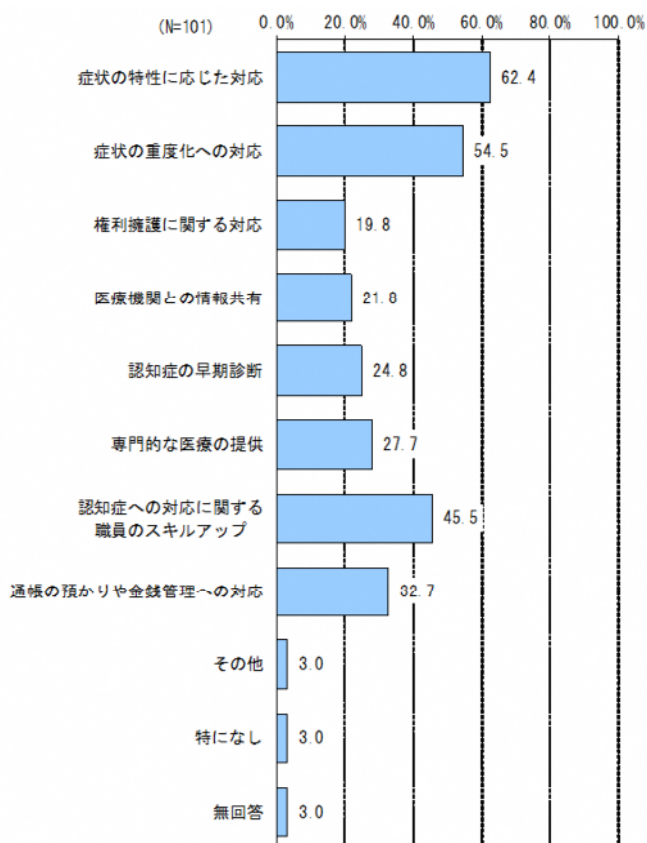
(1) 認知症への対応

- 問 19 認知症の方への対応で課題となっていることは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

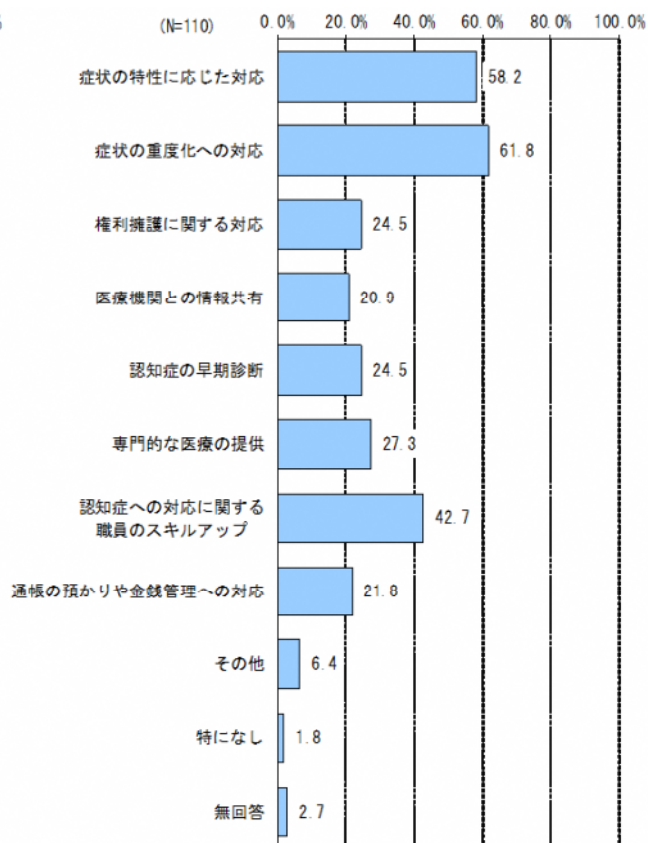
- 認知症の方への対応における課題について、「症状の特性に応じた対応」が62.4%で最も多く、次いで「症状の重度化への対応」が54.5%、「認知症への対応に関する職員のスキルアップ」が45.5%となっています。
- 前回調査と比べると、「通帳の預かりや金銭管理への対応」で10.9ポイント多くなっています。

【認知症の方への対応における課題 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



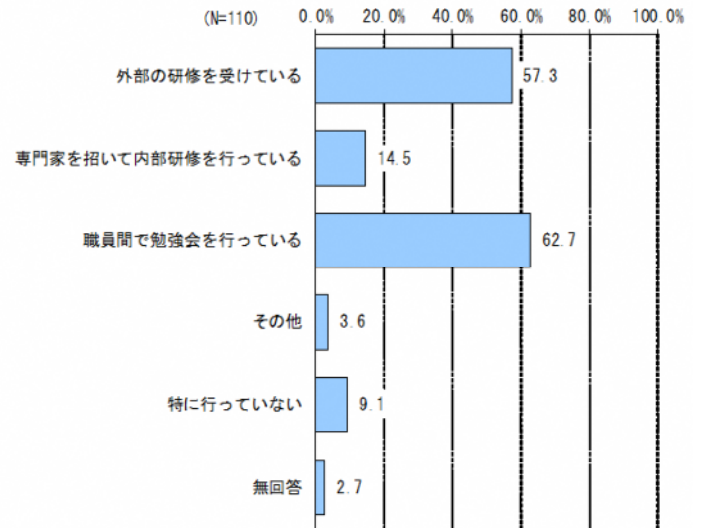
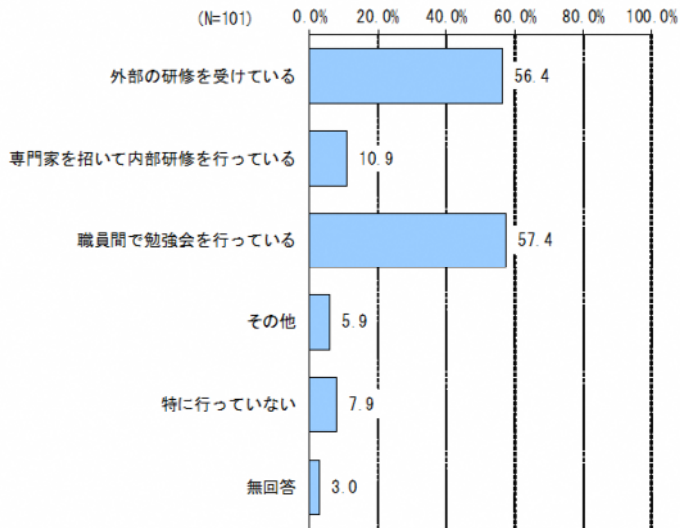
- 問 20 認知症への対応に関する職員の研修をどのように行っていますか。(〇はいくつでも)

○ 認知症への対応に関する職員の研修について、「職員間で勉強会を行っている」が57.4%で最も多く、次いで「外部の研修を受けている」が56.4%となっています。

【認知症への対応に関する職員の研修 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



(2) 医療との連携

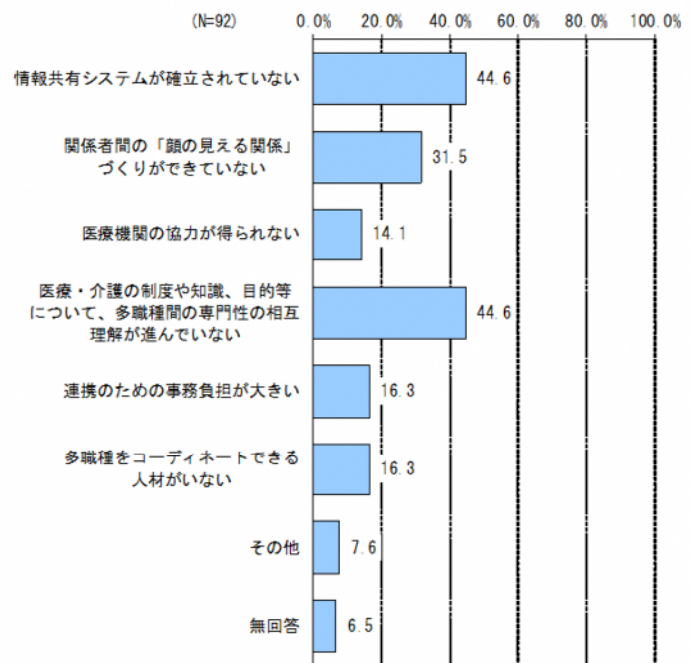
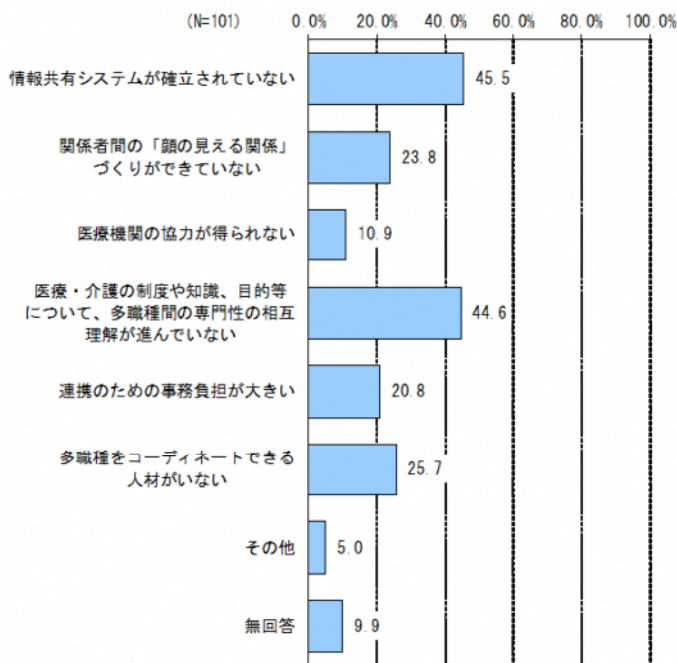
- 問 21 サービスを提供するうえで医療機関との連携について課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- 医療機関との連携を進める上での課題について、「情報共有システムが確立されていない」が45.5%で最も多く、次いで「医療・介護の制度や知識、目的等、多職種間の専門性の相互理解が進んでいない」が44.6%、「多職種をコーディネートできる人材がない」が25.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「多職種をコーディネートできる人材がない」で9.4ポイント多くなっています。一方で、「関係者間の「顔の見える関係」づくりができていない」は7.7ポイント少なくなっています。

【医療機関との連携を進める上での課題 (MA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]

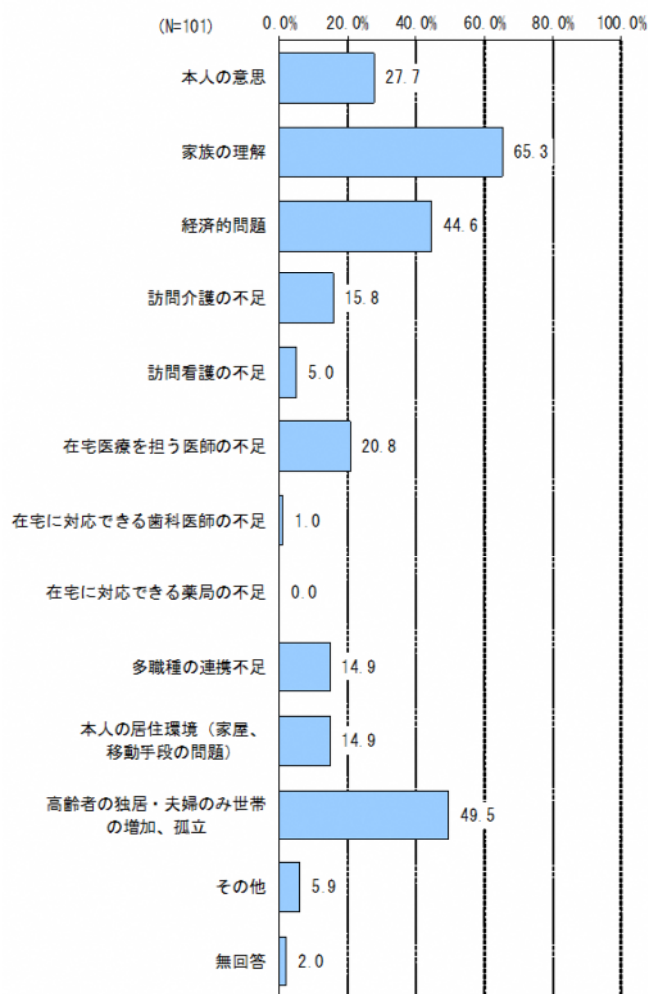


●問 22 在宅医療・介護を進めるうえでの課題は何だと思いますか。(〇は3つまで)

- 在宅医療を進める上での課題について、「家族の理解」が65.3%で最も多く、次いで「高齢者の独居・夫婦のみ世帯の増加、孤立」が49.5%、「経済的問題」が44.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「本人の意思」「経済的問題」で10ポイント以上多くなっています。一方で、「在宅医療を担う医師の不足」は17.4ポイント少なくなっています。

【在宅医療を進める上での課題 (3LA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

